

2022 年度第一回 JARR 幹事会議事録

日 程:2022 年 2 月 18 日(金)14 時 00 分～14 時 35 分

場 所:オンライン(Microsoft Teams)開催

出席者:田中憲一、立石宇貴秀、宮川清、飯塚大輔、原田浩、平出哲也、吉田陽一、長谷川正俊、三浦雅彦(順不同)

報告事項

I JARR の活動について

- (1) IARR からの国際会議への支援の募集について、JARR 幹事へ 2021 年 10 月 26 日に周知を行ったところ、日本からは山田裕 氏(量研)の応募があった。なお、IARR での審議の結果、採択された旨、山田氏から共有された。
- (2) IARR からの Kaplan Award の募集について、JARR 幹事へ 2022 年 1 月 25 日に周知を行った。個人単位、あるいは学会単位で積極的に推薦をお願いしたい。

II その他

- (1) 5th ACRR は、インド ムンバイで 2022 年 11 月 16-20 日に開催予定。
- (2) ICRR2023 は、カナダ モントリオール市において開催予定。

III 会計・監査報告

2021 年度会計報告と監査報告がなされた。なお、AARR (Asian Association for Radiation Research)からの会費請求が数年滞っている状態にある。また、JARR は加盟学会の連携を推進するために、学会連携の企画開催に対し、支援を行うことにしているが、コロナ禍にあり、そのような企画の動きが停滞している状況である。そのため余剰金が増加傾向にあるが、状況が改善次第、積極的に支援していきたい。

審議事項

I. AARR (Asian Association for Radiation Research)の幹事選出について

日本からの AARR の幹事については、資料 2 の通りである。この幹事は約 8 年前に選出されたが、AARR 幹事国からの依頼がなかったため、見直しが行われずに現在に至る。日本が AARR の最初の幹事国だったこともあり、当初 7 名選出され、その後、日本保健物理学会が脱退された際に 1 名減となり、現在の 6 名となった。任期は ACRR 開催の年から、次の ACRR 開催までの 4 年間であり、旧幹事からの引継ぎは ACRR の際に行われる。

5th ACRR が 2022 年 11 月に開催されること、定年を過ぎた先生が含まれていることもあり、新たに選出すべく、JARR 加盟学会へ選出の依頼を行い、2022 年 8 月頃までに後任の選出を行うことになった。

その他

- JARR は国際連携が一番の役割であるが、コロナ禍にあり、その活動が低調になっている。再び国際的な活動が活発になった際には日本からの情報発信や様々な学会へ協力支援を行っていきたい。
- 原田浩 幹事より 2021 年 11 月の IARR 幹事会において、2027 年 ICRR のチェコ開催が決定されたことが報告された。
- 例年 2 月に開催される「菅原・大西記念癌治療増感シンポジウム in 奈良」で JARR 幹事会を開催してきたが、その開催にあたり尽力いただいた長谷川正俊 幹事が退職されるため、継続してこのシンポジウムにあわせて幹事会を開催するのは難しいことが報告された。これまでも幹事会は様々な場所で開催してきた経緯もあり、今後は幹事の都合にあわせて開催場所を決めていきたい。

以上